

## 2011年英文レター誌 SOLA 論文賞受賞者について

英文レター誌 SOLA 編集委員長 三上正男

英文レター誌 SOLA 編集委員会では、一年間に SOLA に掲載された論文の中から、毎年一編程度の優秀な論文を選定し、SOLA 論文賞 (SOLA award) として顕彰することとしています。2011年は、下記の論文が SOLA award の受賞者として決定いたしましたので報告いたします。

1. SOLA, 2011, Vol. 7, 005-008,  
doi:10.2151/sola.2011-002  
Long-Term Changes of Seasonal Progress in  
Baiu Rainfall Using 109 Years (1901-2009)  
Daily Station Data  
by Hirokazu Endo  
*Meteorological Research Institute, Tsukuba, Japan*

受賞理由：

本論文は、既存の研究例より長い100年以上にわたる降水量データを用いて、アジアモンスーン地域にある日本の雨期である梅雨期の降水量季節進行に変化が見られることを示したものである。この変化は熱帯アジアモンスーン域を対象とした既存の報告とは逆の変化であり、地域の違いと共に10年周期変動の影響の見積りや温暖化予測実験との整合性など、今後の多くの議論に一石を投じる研究結果である。SOLA 編集委員会は、本論文が、一次観測データから今後数多くの研究がなされる様な興味深い結果を速報としてレター誌にいち早く掲載した点に高い評価を与えるものであ

り、SOLA 論文賞受賞論文として選定する。

2. SOLA, 2011, Vol. 7, 057-060,  
doi:10.2151/sola.2011-015  
Intercomparison of Surface Heat Transfer Near  
the Arctic Marginal Ice Zone for Multiple  
Reanalyses: A Case Study of September 2009  
by Jun Inoue<sup>1</sup>, Masatake E. Hori<sup>1</sup>, Takeshi  
Enomoto<sup>2</sup>, and Takashi Kikuchi<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>*Research Institute for Global Change, JAMSTEC,  
Yokosuka, Japan*  
<sup>2</sup>*The Earth Simulator Center, JAMSTEC, Yoko-  
hama, Japan*

受賞理由：

本論文は、海洋地球研究船「みらい」上でのラジオゾンデの集中観測により北極海氷周辺の気候境界層を観測し、その結果を3種類の再解析データ (ERA-Interim, JCDAS, NCEP/NCAR) と比較することで、再解析データの北極海上での解析精度を比較し、北極圏の境界付近という微妙な変化を示す気候帯での再解析値の再現性に明瞭な相違が見られることを明らかにした研究である。SOLA 編集委員会は、本論文が北極温暖化研究において重要かつ新規性のある研究成果であり、SOLA 論文賞に値する研究と判断するものである。